

PORTS
OF
OSAKA
PREFECTURE



第39回海の写真コンクール 特選 大阪府知事賞【雨上がり:岩井 英二さん】

TOPICS

- 堺北港のガントリークレーンが釜石港へ～岩手県の復興支援～……………1
- 貝塚市で臨海部立地事業者による津波避難訓練が実施されました！……………2
- 「ごみをなくそう。水をきれいに！」クリーンキャンペーンについて……………3
- 障がい児童通所施設等の船上見学……………3

EVENT

- 第7回 堺北港スモールドラゴンボート大会開催……………4
- 「第57回 親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈……………4
- 第6回 深日港活性化イベント深日港フェスティバルの開催……………5
- 平成29年 海事関係功労者表彰式典……………5
- 「第65回 岸和田港まつり花火」を開催しました……………6
- 体験航海を実施しました……………6
- 堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました……………7
- 泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取り組みについて……………7

PORT NEWS

- ようこそ大阪府宮港湾へ～初入港のご紹介～……………8
- ビジネス英語講座開催……………8
- 平成28年 大阪府宮港湾の港勢（堺北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港）……………9

INFORMATION

- 平成29年度港湾視察～宮城県仙台塩釜港～……………12
- 運営委員会……………12
- 平成29年度理事会・通常総会……………13
- 港湾振興並びに海岸及び港湾愛護功績者に対する感謝状贈呈式……………13

大阪府の
みなと

2017.10
No.117

TOPICS

堺泉北港のガントリークレーンが釜石港へ～岩手県の復興支援～	1
貝塚市で臨海部立地事業者による津波避難訓練が実施されました！	2
「ごみをなくそう。水をきれいに！」クリーンキャンペーンについて	3
障がい児童通所施設等の船上見学	3

EVENT

第7回 堺泉北港スモールドラゴンボート大会開催	4
「第57回 親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈	4
第6回 深日港活性化イベント深日港フェスティバルの開催	5
平成29年 海事関係功労者表彰式典	5
「第65回 岸和田港まつり花火」を開催しました	6
体験航海を実施しました	6
堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました	7
泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取り組みについて	7

PORT NEWS

ようこそ大阪府営港湾へ～初入港のご紹介～	8
ビジネス英語講座開催	8
平成28年大阪府営港湾の港勢（堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港）	9

INFORMATION

平成29年度港湾視察～宮城県仙台塩釜港～	12
運営委員会	12
平成29年度理事会・通常総会	13
港湾振興並びに海岸及び港湾愛護功績者に対する感謝状贈呈式	13

「大阪府のみなと」へのご意見・ご感想及び広告の募集

大阪府港湾協会では「大阪府のみなと」への皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。

頂いた広告は会員情報欄に掲載します。

ご意見・ご感想や広告掲載に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

大阪府港湾協会 住所: 〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンター 10階
TEL.0725-21-7203 FAX.0725-21-7259 E-mail: o-kyoukai@circus.ocn.ne.jp



堺泉北港のガントリークレーンが釜石港へ ～岩手県の復興支援～

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ



贈呈式の様子

リークレーンは、高さ約60m、重さ約600トン、阪神淡路大震災（1995年）の翌年に堺泉北港に設置、神戸港の復興を支援、アジアに流出した貨物のハブ機能を取り戻す役目を担いました。

8月13日に堺泉北港を出発してから4日をかけて岩手県釜石港に無事に到着、その後供用開始に向けガントリークレーンの整備を進め、9月23日、岩手県・釜石市主催で釜石港にてガントリークレーン供用開始式が行われました。供用開始式で達増岩手県知事は「非常に立派で格好いい。釜石の緑の山々にも映える。復興のシンボルとして大いに活用したい。」野田釜石市長は「歴史的な瞬間だ。躍進する釜石港のさらなる飛躍はここから始まる。」と挨拶、大阪府から出席された竹内副知事は「復興のシンボルであり、大阪と岩手の絆の証だ。」と謝辞を述べました。釜石港に設置された

ガントリークレーン本体に岩手県章と大阪府章が入っている。

ガントリークレーンの譲渡に伴い、港湾利用者の皆様のご協力いただき誠に有難うございました。



供用開始式の様子

平成29年8月3日に府から岩手県に無償譲渡が決まっていた大型コンテナの運搬用クレーン「ガントリークレーン」1基の贈呈式を大阪府庁で行い、松井知事から鍵のレプリカを達増岩手県知事へ贈呈しました。贈呈式で松井知事は「東北の復興のみならず、さらなる成長に寄与できればわれわれも非常にうれしい。」とあいさつ。達増知事は「特段の配慮に心から感謝する、岩手県港湾の震災復興のシンボルとして大いに活用していきたい。」と謝辞を述べました。このガントリークレーン



釜石港のガントリークレーン



貝塚市で臨海部立地事業者による津波避難訓練が実施されました！

大阪府港湾局総務企画課危機管理グループ

大阪府港湾局では沿岸市町と連携し、臨海部に立地する事業者に対して平成28年度から津波避難計画の策定及び訓練の実施を働きかけています。

このたび貝塚市において大阪880万人訓練（平成29年9月5日）と併せて、阪南3区に立地する企業や市立北小学校、大阪府知事、貝塚市長らが参加し、南海トラフ巨大地震を想定した津波避難訓練を実施しました。

訓練では、阪南3区に立地する事業者による北小学校への避難訓練や、市消防本部による講話等が実施されました。訓練に参加した阪南3区内の企業の方は、「災害が起きた時にどうすべきか考えるいいきっかけになった」と話され、知事は講評で、「津波から身を守るため、普段からの備えと災害時の早めの対応が非常に肝心。情報を受け取ったら、反射的に体が動くよう、普段からの心得をよろしく願います。」と述べました。

地震津波に備えて住民や従業員、外来者等の人命を守るためには「津波の第一波が到達するまでに浸水区域外など安全な場所に避難する」ことが重要です。



阪南3区立地事業者による避難訓練



知事、市長らによる避難訓練

臨海部立地事業者の皆様は、津波避難計画の策定や定期的な避難訓練を通して「地震から身を守る」「揺れがおさまったら津波に備えてすぐ逃げる」を認識していただくとともに、火災等の2次災害防止に万全を期していただくようお願いします。

なお、津波避難計画の地区別のモデルケース等については以下のホームページで公開しています。



知事による訓練講評

<臨海部立地事業所における津波避難計画の策定について>

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kowan/bousai-kikikanri/tunamihinankeikaku.html>

「ごみをなくそう。水をきれいに！」クリーンキャンペーンについて

大阪府港湾局経営振興課施設運営グループ

大阪府では、大阪湾の浮遊ごみ対策等を進めるため「大阪湾浮遊ごみ対策連絡会議」(構成:環境農林水産部(水産課・循環型社会推進室)、都市整備部(河川室・港湾局))を設置しております。その活動の一環として、例年6月から7月に、海や川といった水辺へのごみ投棄防止に関する啓発を推進するため「ごみをなくそう。水をきれいに！」クリーンキャンペーンを府民の皆様をはじめ、港湾事業者及び関連自治体の協力を得て実施しております。

今年度も、6月2日の堺2区海とのふれあい広場護岸付近での清掃活動を皮切りに、7月2日の貝塚市阪南3区の清掃活動に至るまで、計5回の港湾清掃活動を予定していましたが、雨天のため、浜工業公園周辺で実施される「美化啓発活動」と二色の浜海岸で実施される「二色の浜海岸美化運動」が中止となりました。前述以外の堺2区・泉大津市3埠頭・阪南3区の3箇所におきまして、暑い中にもかかわらず多数の皆様にご協力いただき、港湾施設を綺麗にすることができました。

多数の皆様にご参加いただきありがとうございました。

このような活動を通じ、埠頭の公園や臨港道路などの施設について、港湾で働いている方々や府民の皆様にご心よく使っていただき、港湾施設利用の活性化につなげていくことができればと思っております。

来年度以降も、引き続き活動して参りますので、今後ともご協力のほどよろしく申し上げます。



障がい児童通所施設等の船上見学

大阪府港湾局堺泉北港湾事務所

和泉市において特定非営利活動法人笑輝(しょうき)が運営する障がい児童通所支援事業所「にこ×2」に通う児童やその保護者、指導員の方々に、2日間に渡って大阪府港湾局巡視船「はまでら」に乗船していただきました。

好天にも恵まれ、船内から遠く明石海峡大橋や神戸、大阪市内の景色を臨むことができました。旧堺燈台や龍女神像、港湾施設である岸壁や上屋・倉庫、巨大なLNGタンク、行き交う船舶など、日頃見ることができない船上からの風景に興味津々でした。間近に見えた大型LNGタンカー船の姿に、子どもたちから大きな歓声が上がりました。巡視船「はまでら」への乗船体験を通じて、海や港に関心を持っていただけたようです。

■ 開催日 8月 2日(水) 13名
8月22日(火) 19名



第7回 堺泉北港スモールドラゴンボート大会開催

高石港湾振興会

平成29年6月18日(日)大阪府立漕艇センターにおきまして、高石商工会議所主催の「第7回堺泉北港スモールドラゴンボート大会」が開催されました。昨年より、スピード感と多くのチームに参加してもらえるよう、10人漕ぎのスモールドラゴンボートで実施し、歓喜の湧く中、盛大に行われました。

この大会はドラゴンボート大会を通じて「高石」のまちを広く発信して市民と商工業者相互の絆を強め、商工業発展と堺泉北港のPRの原動力となるよう企画され、第7回目の開催となった今大会は、市内の部オープン、一般の部の男女混合、一般の部オープンで行われ計48チームが参加し、全てのカテゴリーにおいて予選、敗者復活戦、準決勝、決勝と計34レースが行われ、多くの人々で賑わいました。

午前8時から開会式、入魂式を行った後、競技が開始され、第1レースに市内の部4艇がスタート準備を整えた瞬間、「アテンション・ゴー」の合図とともにドラマーの太鼓の音に合わせパドラーが必死の形相で漕ぎ、クルーが団結力を高める白熱のレースが展開され、ゴールラインを駆け抜けた瞬間には会場から大歓声が鳴り響いていました。

表彰式では種目別に1～3位に表彰状とトロフィーが贈呈され終了いたしました。

■ 大会結果

市内の部	オープン200m(26チーム参加)	
優勝	ドリーマーズ	1分05秒35
準優勝	住まいの救急店なかやま	1分06秒09
第3位	ビヨンド・ボーダーズ	1分06秒59

一般の部	男女混合200m(9チーム参加)	
優勝	関西龍舟 白鷹	59秒76
準優勝	関西龍舟 白鹿	1分00秒88
第3位	SRC	1分05秒18

市内の部	オープン200m(13チーム参加)	
優勝	Beer9	55秒06
準優勝	8Pizza	55秒87
第3位	しげる	1分00秒53



「第57回 親と子の写生会」で大阪府港湾協会賞贈呈 大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ



平成29年5月27日(土)泉大津市内の幼稚園から中学校の先生で構成された泉大津美育研究会及び泉大津市文化連盟主催のもと、「第57回親と子の写生会～わたしたちのまち 泉大津の港をかこう！～」が開催されました。

写生会はきららセンタービル周辺で行われ、たくさんの親子が参加されました。先生方の指導のもと、約100名の参加者が思い思いに描いた作品の中から23点が特別賞として選ばれました。

受賞された作品は、どれも表現力がとても豊かで、心を打たれる素晴らしいものばかりでした。

また、6月17日(土)～6月21日(水)の期間、松ノ浜あすとホールにおいて展覧会が開催され、特別賞受賞作品をはじめ、参加者の作品が展示されました。

大阪府港湾協会賞としては、条南小学校2年生 山中 優里花さんの作品が選ばれ、賞状とトロフィーが贈呈されました。



第6回 深日港活性化イベント深日港フェスティバルの開催

岬町企画地方創生課



チャーターしたうずしお観光船日本丸

「かわち」の乗船見学会が開催されるとともに、地元や淡路島の特産品を販売する40店舗が出店し、賑わいをみせていました。

また、泉州南広域消防本部の消防フェアでは、30mはしご車への体験搭乗には行列ができ、人気を集めました。

今回も多くの関係機関、団体の皆さまにご協力をいただき、事故なく無事にイベントを開催することができました。ご協力を賜りました関係機関、団体の皆さまに深く感謝申し上げます。

6月25日(日)、6回目を迎える深日港フェスティバルが開催されました。あいにくの雨模様となりましたが、今回は深日港-洲本港航路社会実験運航が同日からスタートしたことに伴い、会場には約2,000人(主催者発表)の方にご来場をいただきました。

メイン事業となっている「うずしお観光船日本丸」(株)ジョイポート南淡路)による大阪湾ミニクルーズには、今年も多くの方に参加をいただきました。

また、近畿地方整備局和歌山港湾事務所の海洋環境船「海和歌丸」や大阪水上警察署警備艇



深日港会場風景

平成29年 海事関係功労者表彰式典

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

平成29年7月20日に海遊館ホールにて「平成29年海事関係功労者表彰式典」が開催されました。

式典では国土交通大臣表彰状をはじめとする、海事関係功労者に対して表彰状の伝達・授与が行われ、第39回海の写真コンクールで『特選 大阪府知事賞』を受賞された岩井 英二さんには、辰谷大阪府港湾局長より表彰状が授与されました。

海の写真コンクールは公益社団法人 近畿海事広報協会が主催で、「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海・船・港・海運・造船等の海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、湖・川・魚などを含め広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しています。

審査員長である全日本写真連盟 総本部顧問 笹田 金吾氏の講評では、日本最古の木造洋式灯台である旧堺燈台をモチーフに旧堺港の風景を捉えた岩井さんの作品『雨上がり』を「歴史を刻んできた木造の灯台が夕照で映えています。逆光にも関わらず木製の質感が見事に表現されており、技量の高さが伺えます。」と評価されました。

第39回海の写真コンクール(2017年)入賞作品はインターネットで『近畿海事広報協会』で検索するとご覧いただけます。

「第65回 岸和田港まつり花火大会」を開催しました

岸和田港振興協会

今年で65回目の開催となった「岸和田港まつり花火大会」は、岸和田港振興協会が発足した翌年の昭和28年から実施されており、臨海部の埋め立てが始まった当時から港の発展と振興を目的に開催されてきました。この精神を今に引き継ぎ、周辺企業の皆さまの協力のもと、今年も盛大に花火大会が開催されました。昨年までと同様に、現在も埋め立てが続いている阪南2区「ちきりアイランド」の未供用地で約1,500発の花火を打ち上げ、対岸の阪南1区岸壁(岸和田市地蔵浜町)に無料の観覧場を設けまして、今年は約25,000人の観覧客が海上に打ち上がる花火を楽しみました。

この観覧場がある地蔵浜地区は漁業活動が活発で、府内随一の漁獲高を誇っています。毎週日曜日には地元の漁協が主催する「地蔵浜みなとマルシェ」が開催され、大阪湾で獲れた新鮮な魚介類を求めて多くの人で賑わっています。港まつり花火大会は、文字通り港で打ち上げられる花火大会で、当協会では海上からの観覧は危険なため自粛していただくようお願いしていますが、周辺の海上には地元のマリナー以外からも100隻を超えるプレジャーボートなどの船舶が観覧のために訪れます。海上での事故防止のため、海上保安庁の巡視艇や水上警察の警備艇と連携し、地元漁協の漁船による警戒船がここでも活躍しています。

今後も当協会といたしましては、港と海への関心を高め、港湾の振興を図ることで多くの方に港や海の素晴らしさを伝えていきたいと考えております。



体験航海を実施しました

岸和田港振興協会



岸和田港振興協会では昨年に引き続き花火大会の翌週の8月5日の土曜日に、巡視船の体験航海を実施いたしました。今年は、海上保安庁より徳島海上保安部所属の巡視船「よしの」を派遣していただき、お子さまを中心に約150名の岸和田市民の方に体験航海を楽しんでいただきました。当日は、台風5号の接近により開催が危ぶまれましたが、岸和田海上保安署をはじめ、第五管区海上保安本部や大阪海上保安監部の方々の協力のもと無事に開催することができました。各関係機関の皆さまには、この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げます。



午前と午後の2回にわたり実施された今回の体験航海では、阪南1区岸壁(岸和田市地藏浜町)から関西国際空港までの航路において、運よく関西空港海上保安航空基地が実施する航空機展示訓練に遭遇し、機動救難士(通称:海猿)による海上訓練を船上から見学することができました。海難事故等を想定した訓練では、機動救難士が関空基地所属のヘリコプター(愛称:みみずく)から降下し、巡視艇と連携しながら遭難者の救出をする様子を間近で見ることができ、乗客一同、普段は目にすることがない光景に興奮し、目を輝かせておりました。

当協会といたしましては、この体験航海を通じて、多くの方に港や海の素晴らしさを伝えていきたいと考えております。引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました

堺大魚夜市実行委員会

平成29年7月31日(月)、約700年の歴史を誇る「堺大魚夜市」(主催:堺大魚夜市実行委員会)が、「元気発信!おいでよ堺!」をテーマに大浜公園(堺市堺区)で開催され、約20万人もの来場者(主催者発表)が堺の夏の風物詩を楽しみました。

お祭り一番の見どころは、19時から始まる「魚セリ」です。堺大魚夜市は、約700年前、泉州周辺地域の漁師が「航海の神」「漁業の神」として信仰していた住吉大社(大阪市住吉区)に航海の安全と豊漁を祈念し魚を奉納した際、同時に新鮮な魚を売り始めたのが起源といわれています。この伝統ある魚セリには誰でも気軽に参加でき、毎年、大勢の方で賑わっています。会場には20を超える大きなセリ台がズラリと並び、「安いで、買うてや!」と威勢のいい掛け声が飛び交い、参加者は、自らセリ落とした鯛やサザエ、ホタテなど様々な魚介類を持ち帰っていました。



このほかにも、B級グルメコーナーや夜店、縁日、企業PRブースなど多数出店するとともに、ステージでは華やかなダンスや歌などの催しが行われたほか、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産の国内推薦候補に決定したことを受けて、百舌鳥・古市古墳群PRも行われました。また、会場の大浜公園に設置されている「擁護璽(ようごじ)」(江戸時代に発生した地震と津波への対応が刻まれた石碑)に関する見学説明会が開催されるなど、多彩な催しで会場を盛り上げました。また、堺旧港では花火が打ち上がり、色あざやかな花火で夜空が彩られ、会場は夜遅くまで大勢の方で賑わいました。

泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会の取組みについて 大阪府港湾局経営振興課開発調整グループ

大阪府港湾局では、堺泉北港汐見沖地区「泉大津フェニックス」の埋立地造成の推進と、造成した土地の有効利用を進めています。

また、泉大津市、泉大津商工会議所、大阪湾広域臨海環境整備センター、堺泉北埠頭株式会社と共に、「泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会」を設立し、この地で人が親しみ、集い、交流とにぎわいある港づくり・まちづくりを実現するよう、野外コンサートをはじめ各種イベントの開催サポートや、イベント当日の「泉大津フェニックス」のPR活動に尽力しております。

今年は、野外コンサートのほか、ショッピングイベントである「INAZUMA FESTIVAL 2017 WEST(約5千人来場)」が開催されるなど、「泉大津フェニックス」の認知度が高まっております。

【野外コンサートについて】

「泉大津フェニックス」での野外コンサートは、今年で早くも13年目となり、夏フェスの聖地として親しまれています。今年は3イベント計5日間開催し、約7万人のにぎわいを創出しました！当日は会場内にブースを設置し、「泉大津フェニックス」のPR活動を行いました。ブースではクイズを実施し、回答いただいた方計2,400人にタオルを配布しました。



◇ 8月26日(土)・27日(日)RUSH BALL 2017 (主催:グリーンズコーポレーション)

◇ 9月2日(土)・3日(日)OTODAMA'17 ~音泉魂~夏フェスOR DIE!!!編

夏フェスというボケ編(主催:清水音泉)

◇ 9月10日(日)HEY-SMITH Presents OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2017 (主催:グリーンズコーポレーション)

ようこそ大阪府営港湾へ ～初入港のご紹介～

大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ

大阪府港湾局では、府営港湾に初めて入港する船舶に対し、大阪府港湾協会や地元市港湾振興会と協力して、初入港記念楯の贈呈を行っています。



堺泉北港へ接岸した「FUJISUKA」号



オーストラリアから運ばれた珪砂の荷役作業

FUJISUKA

(全長 182.99m
国際総トン数 27,470トン)

平成29年8月9日(水)
堺泉北港汐見埠頭汐見5号岸壁Aバース
外国航路貨物船
貨物:シリカサンド(珪砂)

ビジネス英語講座開催

堺泉北港港湾振興連絡協議会・阪南港港湾振興連絡協議会

堺泉北港港湾振興連絡協議会と阪南港港湾振興連絡協議会では、港湾関連企業及び団体を対象に、平成29年7月26日（水）及び31日（月）の2日間にわたり、ビジネス英語講座を開催しました。

初日の「ビジネス英会話」では、異文化理解をはじめ名刺交換や挨拶の仕方、適切な話題でのスモールトークや、また会話の続け方、海外からの顧客の迎え方などをロールプレイで習得していただきました。

続いて2日目の「英語でセールストーク・プレゼンテーション」では、自社製品のアピールをするためのセールストークや、本格的なプレゼンテーションを練習し、知っていると役立つ表現とともに、効果的なビジネストークの方法を学んでいただきました。

セミナー参加者からは、「トレーニングから勉強法まで幅広く学べた」、「実践的で短時間で身についたことが多かった」などのご感想をいただきました。

- ◇講師：株式会社イー・グローブ 代表取締役社長 島村 東世子 氏
- ◇会場：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階 きららホール
- ◇開催時間：10:00～16:00



ビジネス英会話	平成29年7月26日（水）	受講者：19名
英語でセールストーク・プレゼンテーション	平成29年7月31日（月）	受講者：18名

平成28年大阪府営港湾の港勢 (堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港)

大阪府港湾局経営振興課施設運営グループ

●府営港湾全体

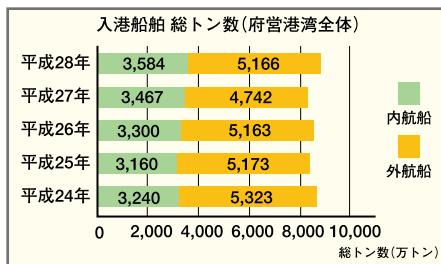
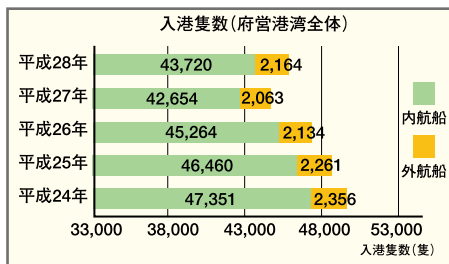
大阪府が管理する8港湾のうち、港湾統計の対象である堺泉北・阪南・深日・尾崎・泉州・泉佐野港の6港湾の港勢(平成28年1月～12月)をとりまとめました。

入港船舶数は、外航船が2,164隻、内航船が43,720隻で、合計45,884隻となり、総トン数は約8,750万トンでした。

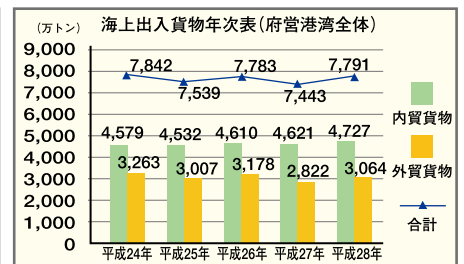
取扱貨物量は、外貿が約3,064万トン、内貿が約4,727万トンで、合計約7,791万トンです。

下記のグラフを参照しますと、入港隻数は減少傾向にもかかわらず総トン数が増加傾向にあることから船舶の大型化が見受けられます。

(1) 入港船舶数 (府営港湾全体)



(2) 海上出入貨物 (府営港湾全体)



※端数処理により合計値があわないことがあります。

※端数処理により合計値があわないことがあります。

●堺泉北港

◎全体

入港船舶数は外航船が2,094隻、内航船が28,735隻で、合計30,829隻となり、総トン数は約8,361万トンでした。取扱貨物量は外貿が約3,033万トン、内貿が約4,376万トンで、合計約7,409万トンです。

主要品種は、原油、完成自動車(フェリー貨物含む)、石油製品、LNG(液化天然ガス)、鋼材となっています。

◎公共

主要品種は、外貿の輸出では完成自動車、金属くず、鋼材で、輸入が鋼材、鉄鋼、木製品です。

内貿の移出では、完成自動車(フェリー貨物含む)、その他輸送車両、鋼材で、移入は、完成自動車(フェリー貨物含む)、砂利・砂、鋼材です。

泉大津～新門司間のフェリーの乗降人員は乗込が約10万人、上陸が約11万人で合計約21万人が利用しています。

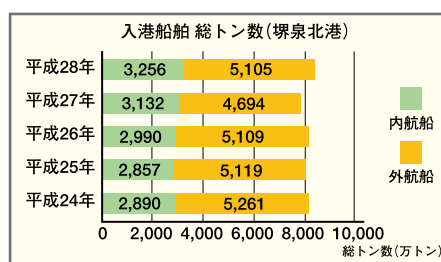
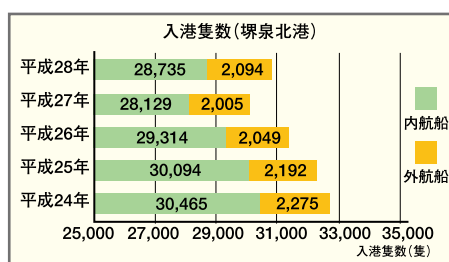
■堺泉北港(全体) 取扱品種上位ランキング(外貿)

順位	輸 出		輸 入	
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)
1	石油製品	2,162	原油	12,970
2	完成自動車	1,034	LNG(液化天然ガス)	8,996
3	化学薬品	483	石油製品	1,567
4	金属くず	321	LPG(液化石油ガス)	572
5	重油	275	鋼材	463

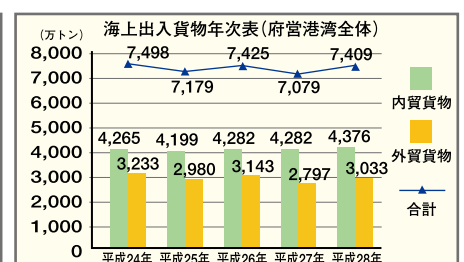
■堺泉北港(全体) 取扱品種上位ランキング(内貿)

順位	移 出		移 入	
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)
1	完成自動車	6,132	完成自動車	6,390
2	石油製品	4,597	原油	6,246
3	重油	2,695	鋼材	4,682
4	鋼材	1,840	砂利・砂	1,719
5	化学薬品	1,250	セメント	1,586

(1) 入港船舶数 (堺泉北港)



(2) 海上出入貨物 (堺泉北港)



※端数処理により合計値があわないことがあります。

※端数処理により合計値があわないことがあります。

● 阪南港

入港船舶数は、外航船が70隻、内航船が6,257隻で、合計6,327隻となり、総トン数は約240万トンでした。

取扱貨物量は、外貿が約31万トン、内貿212万トンで、合計約243万トンです。

主要品種は、外貿が木材チップ、原木、鋼材で、内貿が砂利・砂、廃土砂、非金属鉱物です。

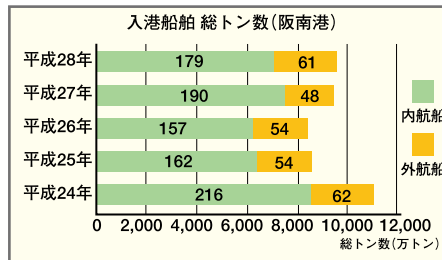
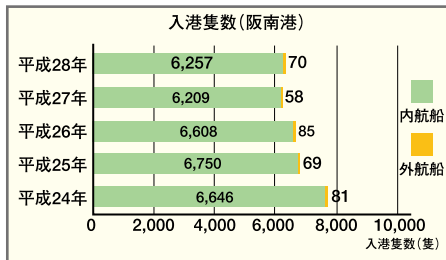
■ 阪南港 取扱品種上位ランキング (外貿)

順位	輸 出		輸 入	
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)
1	鉄 鉱 石	3.5	木 材 チ ッ プ	216
2	非 金 属 鉱 物	3.0	原 木	62
3	—	—	鋼 材	15

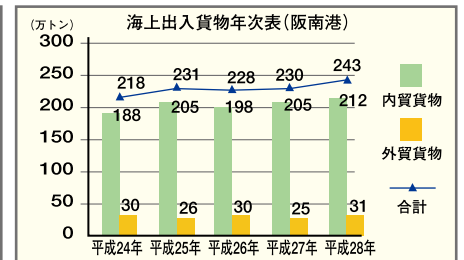
■ 阪南港 取扱品種上位ランキング (内貿)

順位	移 出		移 入	
	品 種 名	貨 物 量 (千トン)	品 種 名	貨 物 量 (千トン)
1	砂 利 ・ 砂	36	砂 利 ・ 砂	876
2	廃 土 砂	33	廃 土 砂	396
3	再 利 用 資 材	26	非 金 属 鉱 物	169

(3) 入港船舶数 (阪南港)



(4) 海上出入貨物 (阪南港)



※端数処理により合計値があわないことがあります。

※端数処理により合計値があわないことがあります。

● 深日港

入港船舶数は25隻、総トン数は7,031トン、取扱貨物量は2,500トンでした。

● 尾崎港・泉州港・泉佐野港

【尾崎港】

入港船舶数は2,562隻、総トン数は20,496トン、取扱貨物量は145トン(水産品)でした。

【泉州港】

入港船舶数は6,053隻、すべて内航船です。客船がほとんどで、5,774隻と全体の95%を占めています。乗降人員は下記のとおりです。総トン数は約144万トンです。取扱貨物量は139万トン(石油製品)でした。

航 路	平成27年			平成28年		
	乗 込	上 陸	合 計	乗 込	上 陸	合 計
関空～神戸	208,671	205,629	414,300	172,284	174,411	346,695

【泉佐野港】

入港船舶数は88隻、総トン数は12,986トン、取扱貨物はありませんでした。

※端数処理により合計値があわないことがあります。

●平成28年 港別入港船舶及び海上出入貨物状況

港名		入港船舶		取扱貨物量 (トン)	取扱貨物量の内訳					
		隻数 (隻)	総トン数 (G/T)		外 貿			内 貿		
					計 (トン)	輸 出 (トン)	輸 入 (トン)	計 (トン)	移 出 (トン)	移 入 (トン)
堺泉北港	全 体	30,829 (354)	83,610,469 (5,627,538)	74,092,985 (10,940,025)	30,331,328 (-)	4,655,213 (-)	25,676,115 (-)	43,761,657 (10,940,025)	18,586,541 (5,399,745)	25,175,116 (5,540,280)
	う ち 公 共	6,856 (354)	26,134,458 (5,627,538)	18,508,923 (10,940,025)	2,716,272 (-)	1,466,274 (-)	1,249,998 (-)	15,792,651 (10,940,025)	7,009,329 (5,399,745)	8,783,322 (5,540,280)
阪南港	全 体	6,327	2,402,227	2,425,206	307,899	6,500	301,399	2,117,307	134,283	1,983,024
	う ち 公 共	5,970	2,091,687	2,116,908	304,789	6,500	298,289	1,812,119	134,232	1,677,887
深日港	全 体	25	7,031	2,500	-	-	-	2,500	-	2,500
	う ち 公 共	25	7,031	2,500	-	-	-	2,500	-	2,500
尾崎港	全 体	2,562	20,496	145	-	-	-	145	-	145
	う ち 公 共	2,562	20,496	145	-	-	-	145	-	145
泉州港	全 体	6,053	1,444,088	1,388,322	-	-	-	1,388,322	-	1,388,322
	う ち 公 共	-	-	-	-	-	-	-	-	-
泉佐野港	全 体	88	12,986	-	-	-	-	-	-	-
	う ち 公 共	88	12,986	-	-	-	-	-	-	-
合 計	全 体	45,884 (354)	87,497,297 (5,627,538)	77,909,158 (10,940,025)	30,639,227 (-)	4,661,713 (-)	25,977,514 (-)	47,269,931 (10,940,025)	18,720,824 (5,399,745)	28,549,107 (5,540,280)
	う ち 公 共	15,501 (354)	28,266,658 (5,627,538)	20,628,476 (10,940,025)	3,021,061 (-)	1,472,774 (-)	1,548,287 (-)	17,607,415 (10,940,025)	7,143,561 (5,399,745)	10,463,854 (5,540,280)

注：下段は内数公共。()内は、フェリーを表す。

平成29年度港湾視察 ～宮城県 仙台塩釜港～

港湾視察事業は、会員の皆様が他港湾の取り組みや港湾施設の実態などを視察し、日常の業務に役立てていただくことを目的として実施しています。

今年度は平成29年9月14日(木)～15日(金)に20名(事務局含む)で、宮城県の仙台塩釜港を視察しました。

また、14日には東日本大震災において8mを超える津波が押し寄せ、大きな被害をうけた閑上(ゆりあげ)地区の現在の復興状況などを視察するため、日和山を訪れました。

視察では、東日本大震災時の津波や浸水の高さを示す看板や慰霊碑、津波で多くのものが流され、復興に向けて工事が進むエリアや塩害があった土地などを目の当たりにし、被害の甚大さを感じることができました。

また港湾施設の現地視察では、港全体が大きな被害を受け、一時は稼働できなくなっていたガントリークレーンが、現在は復旧して精力的に荷役を行う様子などを見学することができました。



閑上地区(日和山)



高砂コンテナターミナル視察

視察行程

【第1日目(9月14日)】

- 閑上地区 東日本大震災 被災状況 見学(日和山)
- 仙台塩釜港 仙台港区 視察(宮城県仙台塩釜港湾事務所より説明)
 - ・ 東日本大震災 被害状況等 説明映像
 - ・ 仙台塩釜港 概要 説明映像
 - ・ 質疑応答(震災当時の航路啓開、がれき処理、復興事業についてなど)
 - ・ 現地視察(仙台港サイロ・高砂コンテナターミナル管理棟より)

【第2日目(9月15日)】

- 仙台塩釜港 塩釜地区・松島地区(マリングート塩釜) 視察
- 仙台塩釜地区 概要説明(塩竈市役所より説明)
 - ・ 震災被災状況と復興への取り組み
 - ・ 松島湾ダーランド推進計画について
 - ・ 質疑応答(震災後の指定避難場所等について)



マリングート塩釜における概要説明

運営委員会

<平成29年度 第1回>

日時：平成29年6月7日(水)14:00~15:30

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階「201・202」

議事：(1) 平成29年度理事会・総会議案書の案について

－第1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算報告

－第2号議案 平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

(2) その他

<平成29年度 第2回>

日時：平成29年10月20日(金)10:00~11:30

場所：堺泉北港ポートサービスセンタービル2階「201・202」

議事：(1) 平成29年度在阪国家機関等に対する要望について

(2) その他報告事項

平成29年度理事会・通常総会

平成29年7月11日(火)ホテル・アゴーラリー
ジェンシー堺において大阪府港湾協会 第68回理事
会及び総会を下記のとおり開催いたしました。



- 1 開会挨拶 金盛 弥 会長
- 2 来賓祝辞 近畿地方整備局 副局長 長田 信 様
近畿運輸局長 代理:近畿運輸局 海事振興部長 吉田 憲史 様
堺海上保安署長 渡辺 博史 様
大阪府港湾局長 辰谷 義明 様
- 3 来賓照会・祝電披露
- 4 議 事 (議長:山部 雅春 山九株式会社泉北支店長)
第1号議案:平成28年度事業報告並びに収支決算報告について
第2号議案:平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
その他報告事項
以上、第1号から第2号議案について各々審議を行い、
原案どおり可決承認されました。
- 5 記念講演 「これからの世界経済・日本経済の行方」
BRICs 経済研究所代表 門倉 貴史 氏

港湾振興並びに海岸及び港湾愛護功績者に対する感謝状贈呈式

大阪府港湾局では、毎年海の月間に港湾の振興並びに海岸及び港湾愛護思想の普及を図るため、功績のあった方々に知事または局長感謝状を贈呈しております。今年度においても「海岸及び港湾の愛護」等に功績のあった次の方々に対して、辰谷港湾局長から感謝状の贈呈を、金盛大阪府港湾協会会長より、記念品として楯が贈られました。

- と き：平成29年7月11日
- ところ：ホテル・アゴラリージェンシー堺 3階「利休の間2」
- 主 催：大阪府港湾局



【大阪府知事感謝状】

○岬町小島地区まちづくり推進協議会 様

平成20年にアドプト・シーサイド・小島として、岬町多奈川小島海岸における清掃を実施し、地域の魅力・まちづくりプロジェクト活動として地域住民とともに小島地区の豊かな自然の魅力を再確認し、その自然を活用した「くつろぎ空間」を創造して、地域内外の人が集う魅力ある空間を形成するために活動しておられ、その一環として海岸の清掃活動を実施し海岸の環境美化に積極的に貢献していただいております。

【大阪府港湾局長感謝状】

○りんくう花火実行委員会 様

平成24年にアドプト・シーサイド団体に認定され、アドプト・シーサイドE njoy! りんくうとして、泉佐野市域マーブルビーチにおける清掃を実施していただきました。

○浜寺諏訪森西3丁会・西4丁会 様

平成24年度にアドプト・シーサイド団体に認定され、アドプト・シーサイド・諏訪森として、平成24年度より泉州海岸浜寺地区における清掃を実施していただきました。

○堺旧港もてなしの心 様

平成20年にアドプト・シーサイド団体に認定され、堺旧港として、堺泉北港堺旧港における清掃を年300回 程実施していただきました。

○田中 正視 様

年一回のフォーラムの開催、教育機関と合同での環境美化活動、また他団体と連携し、大阪湾生き物調査や観察会などを行い、個人でもウミホタル親子観察会を開催していただきました。



第57回「親と子の写生会」大阪府港湾協会賞 山中 優里花さん(小2)

大阪府港湾協会 大阪府港湾振興webサイト
FRIEND & SHIP <http://www.osakaprefports.jp/>

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 大阪府港湾局経営振興課経営振興グループ内
TEL.0725-21-7203

印刷発行／平成29年10月